

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2009年4～6月期)

第53回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成21年1～3月との比較）
 - （2）前年同期比（平成20年4～6月との比較）
 - （3）来期見通し（平成21年7～9月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	135社
回答率	27.0%
(業種別)	
製造業	43社
建設業	29社
卸売業	12社
小売業	22社
サービス業	29社
合計	135社

(2) 実施時期

平成21年4～6月期

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高(出荷額・受注額)、採算(経常利益ベース)、資金繰りの状況、仕入れ単価(資材、原材料、商品)、雇用(労働力)状況(含むパート)、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所(宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都)の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味します。

売 上 D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採 算 D I = (好転 ") - (悪化 ")

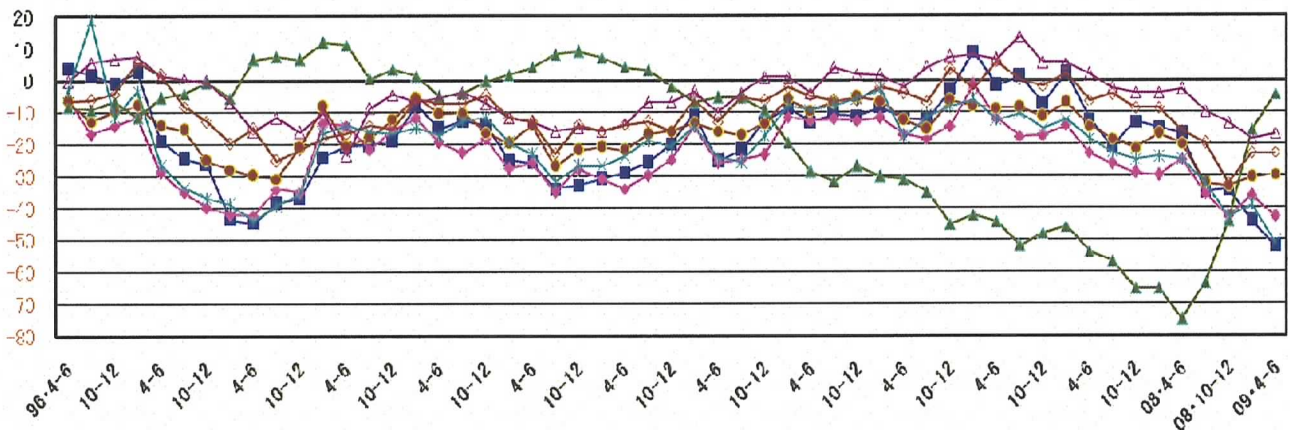
資金繰り D I = (好転 ") - (悪化 ")

仕入価格 D I = (下落 ") - (上昇 ")

雇用状況 D I = (不足 ") - (過剰 ")

設備投資 D I = (拡大 ") - (減少 ")

業 況 D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D I の推移)

	10-12	07/1-3	4-6	7-9	10-12	08/1-3	4-6	7-9	10-12	09/1-3	09/4-6
■ 売上	-7.4	2.1	-12.4	-21.1	-13.1	-15.3	-17.4	-35.1	-34.5	-44.4	-52.3
◆ 採算	-17.5	-14.4	-23.0	-26.3	-29.2	-30.1	-24.5	-35.8	-42.9	-36.4	-42.9
● 資金繰り	-11.6	-7.2	-14.6	-18.6	-21.4	-16.9	-20.0	-32.5	-33.3	-30.6	-29.8
▲ 仕入価格	-48.1	-45.9	-53.9	-56.7	-65.5	-66.1	-74.8	-63.6	-44.3	-15.8	-4.6
△ 雇用状況	5.3	5.2	1.7	-2.6	-4.2	-3.8	-3.2	-9.9	-13.5	-18.6	-16.9
◇ 設備投資	-2.1	2.1	-6.7	-4.6	-8.9	-9.3	-15.5	-19.9	-32.6	-23.0	-23.0
* 業況	-15.3	-12.4	-18.5	-22.7	-25.0	-24.0	-25.2	-32.5	-43.1	-39.3	-51.2

3. 概況

「需要停滞・消費低迷で依然として業況回復の気配見られず」

(1) 今期の特徴

今期のD I 値は、前回調査より前期比では「売上」の項目はマイナス幅が縮小したものの「採算」、「業況」の項目でマイナス幅が拡大した。前年同期比で、「売上」、「採算」、「業況」のマイナス幅が拡大した。前年同期比で仕入価格は改善を見せているものの、昨年からの世界的な経済悪化による影響が続き、業況は依然として厳しい状況となっている。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、「仕入価格」以外の項目でマイナス幅が縮小された。業種別では、製造業では、飲料関連の一部では季節的需要増が期待されるものの、鉄工関連では取引先の設備投資の減少で、業況の大幅な好転は期待出来ず。建設業では、公共工事の新規発注に期待の声はあるものの、民間工事の受注競争激化による売上・採算の悪化が懸念される。卸・小売・サービス業では、政府の景気対策効果に期待が持たれるものの、新型インフルエンザ等の社会不安も懸念され、消費マインドの低下による買い控えが不安視される。

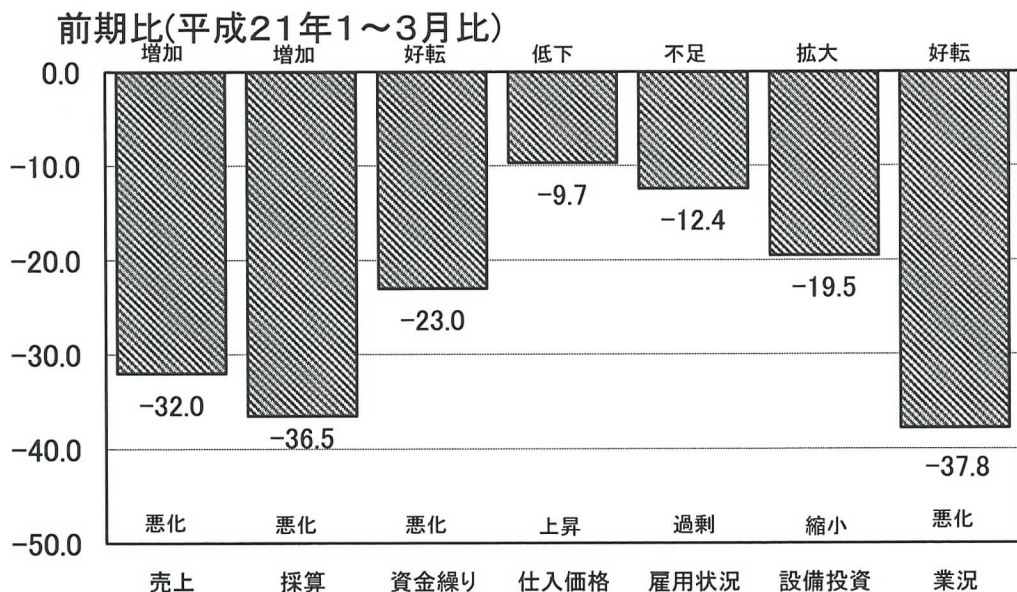
(3) 経営上の問題点

今回の上位順位は、1位に「需要の停滞」、2位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」、3位に「県内大手企業の事業展開による競争の激化」と続いた。

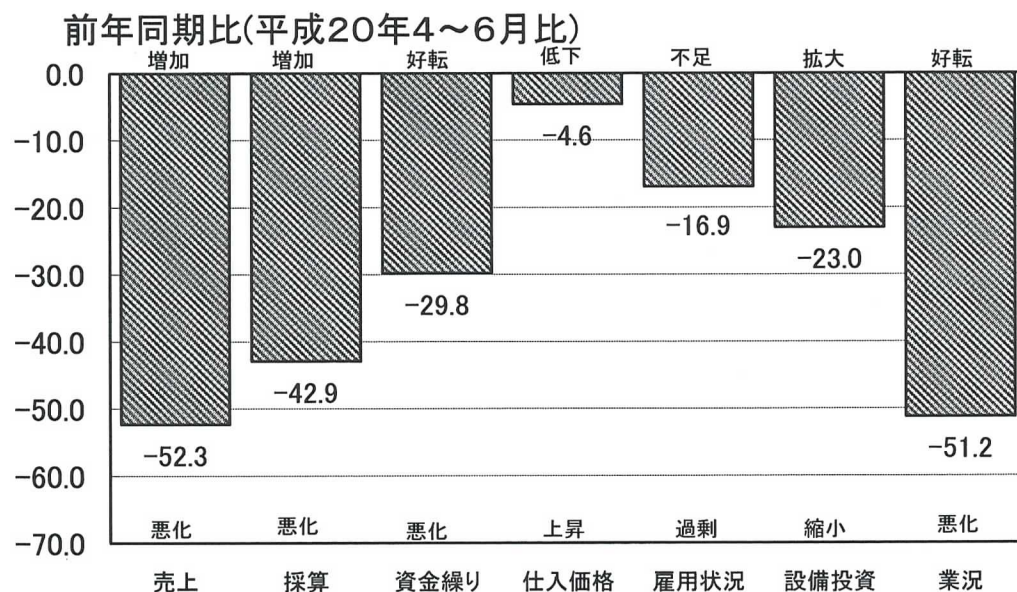
(4) 今後の対応策

今回の上位順位は、前回1位と2位が入れ替わり、1位に「その他の合理化を実施したい」、2位に「新規市場を開拓したい」となり、3位に「人件費を削減したい」と続いた。

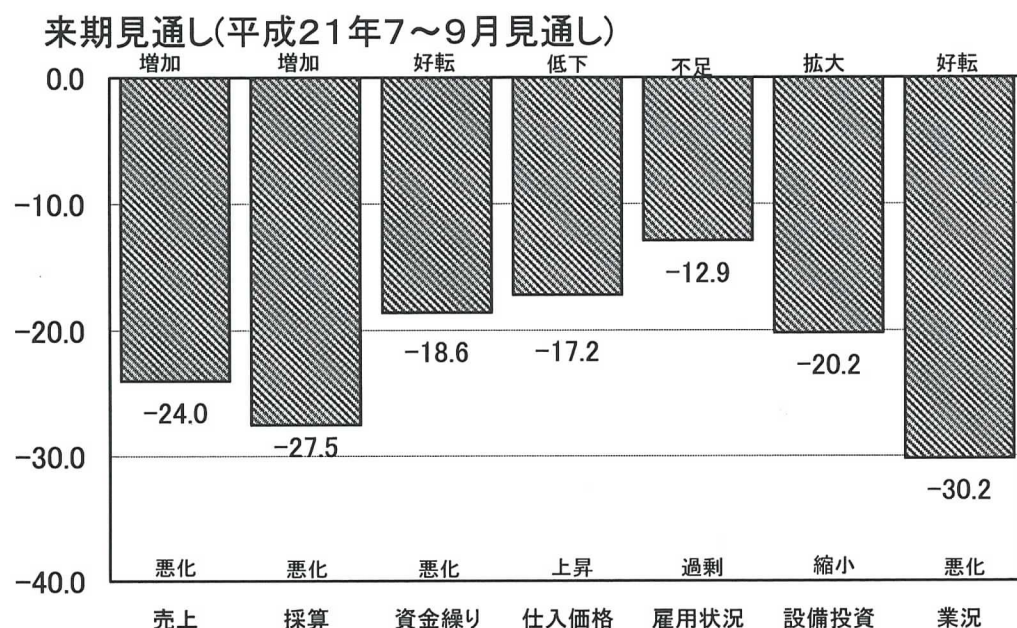
4. 県内の景気動向(全業種)



前期比DIは、前回調査と比較して業況が大幅悪化となった。世界経済悪化の影響による設備投資の減退で受注が減少し、更に、個人消費の買い控えによる需要の低迷等で全産業で依然厳しい状況となっている。



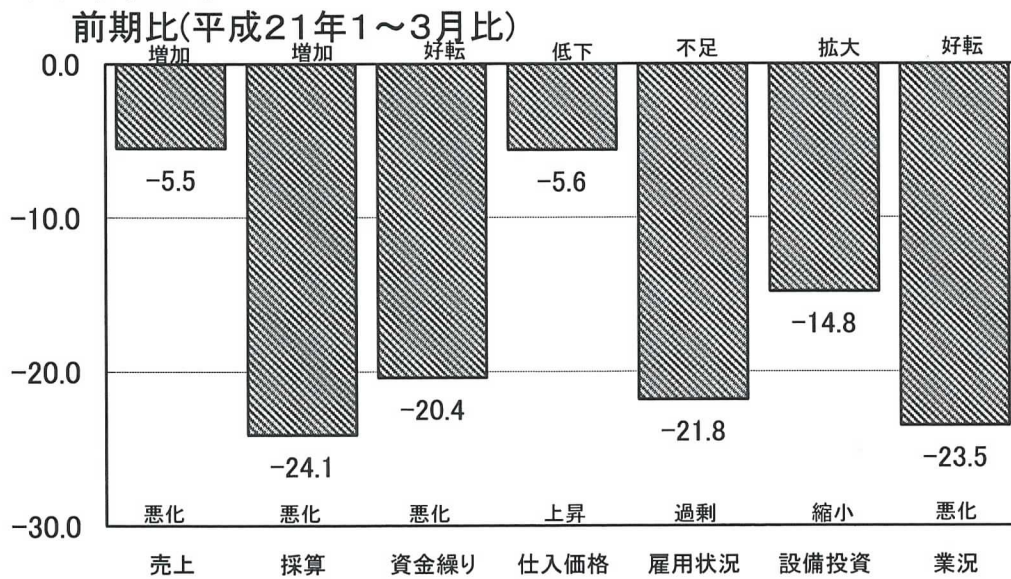
前年同期比DIは、前回調査と比較して仕入価格はマイナス幅が改善されたものの売上・採算・業況は大幅に悪化となった。世界経済の急激な減速に伴う需要の悪化とそれに伴う消費の低迷で経営環境は益々厳しい状況となっている。



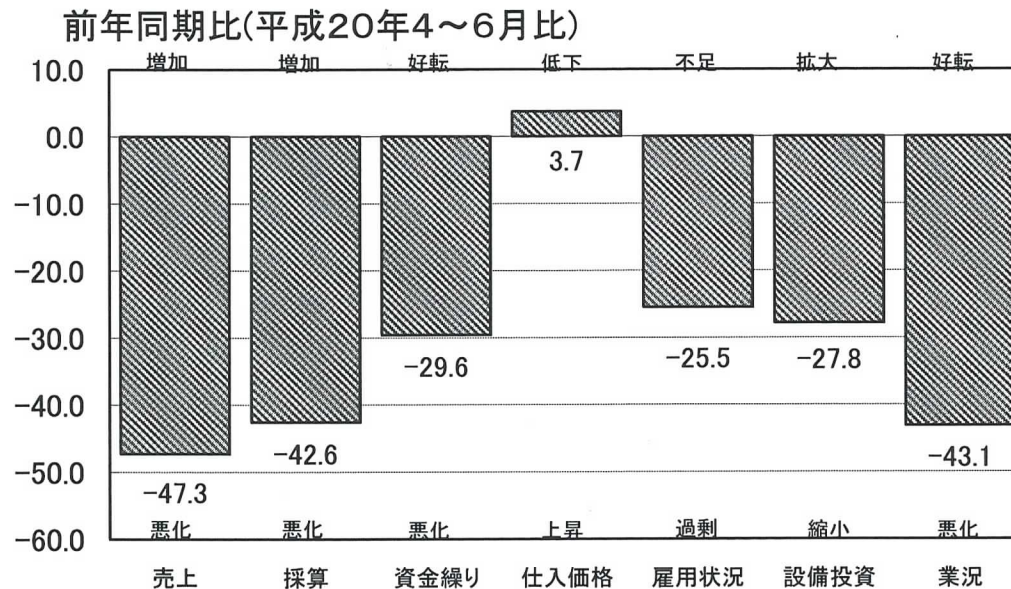
来期見通しDIは、前回調査と比較してマイナス幅は改善された。政府の景気対策効果に期待が持たれるものの、新型インフルエンザ等の社会不安もあり業況好転の兆しは鈍く、先行きは依然不透明となっている。

5. 業種別の景気動向

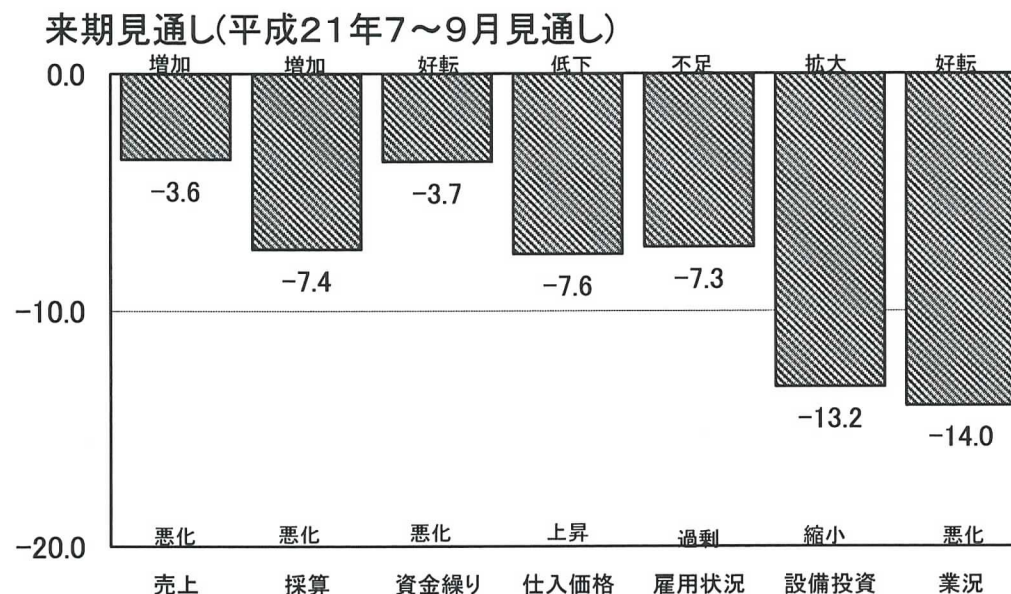
(1) 製造業



前期比DIIは、前回調査と比較して全項目でマイナス幅が改善された。「メーカーの在庫調整が落ち着き受注が増えた」(水晶デバイス製造)などの声が聞こえるものの以前の受注ベースには戻っておらず厳しい経営環境が続いている。



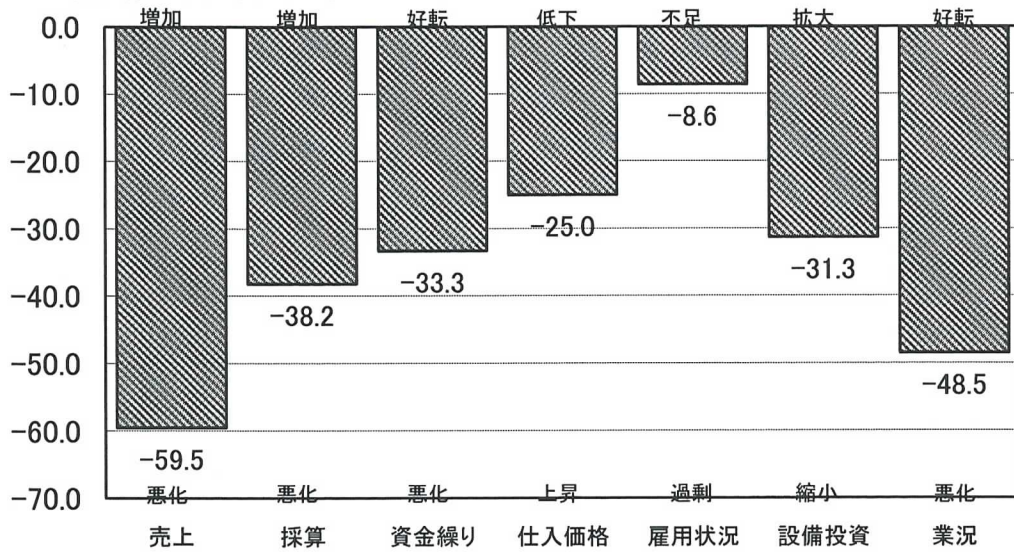
前年同期比DIIは、前回調査と比較して、仕入価格はプラスに転じたものの、総じて横ばいとなっている。世界経済の急激な減速による影響で受注件数、金額ともに悪化しており業況は依然厳しい状況となっている。



来期見通しDIIは、前回調査と比較して、全項目でマイナス幅が大幅に改善した。「夏場の売上増加」(清涼飲料水)等、先行きを期待する声が聞かれるが、鉄工関連では、設備投資の減少による受注競争の激化など先行きの不透明感も否めない状況である。

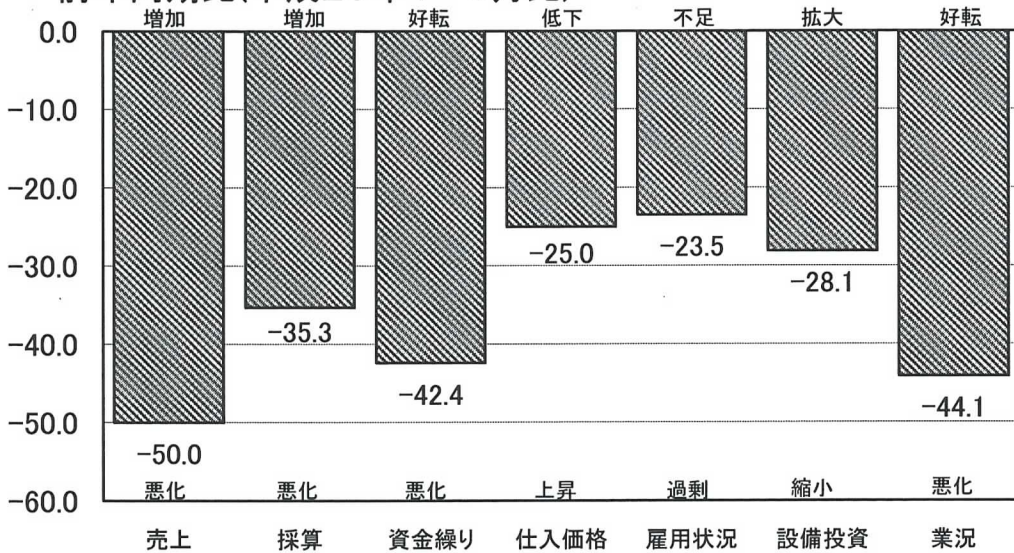
(2) 建設業

前期比(平成21年1~3月比)



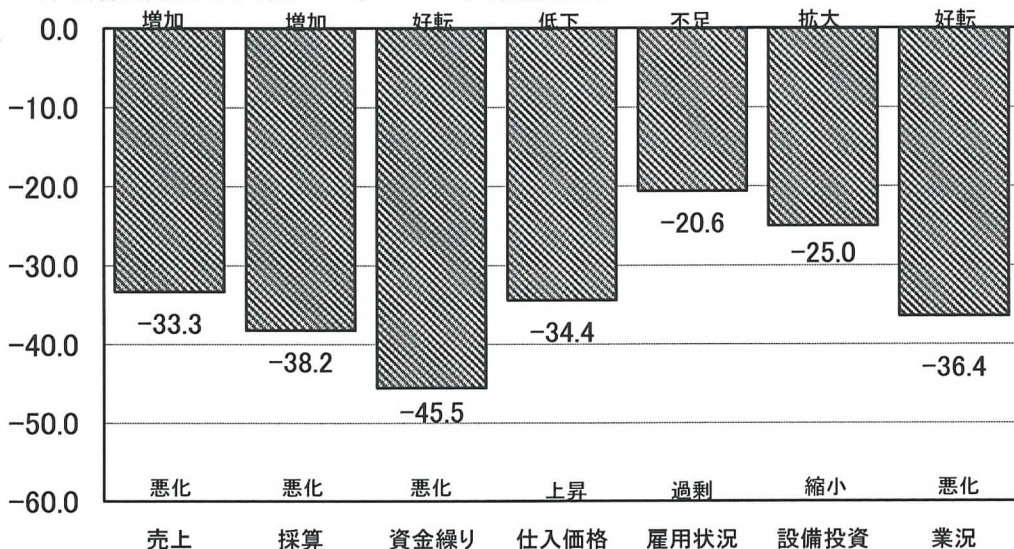
前期比DIは、売上・採算・業況ともにマイナス幅が大幅に拡大した。年度末需要の反動による受注量の減少、更には競争激化に伴う受注額の悪化で益々厳しい経営環境となっている。

前年同期比(平成20年4~6月比)



前年同期比DIは、売上・採算・業況ともに悪化となった。新年度の公共工事における受注件数の減少・遅延、更には民間工事の過当競争激化による採算悪化で建設業を取り巻く経営環境は厳しい状況となっている。

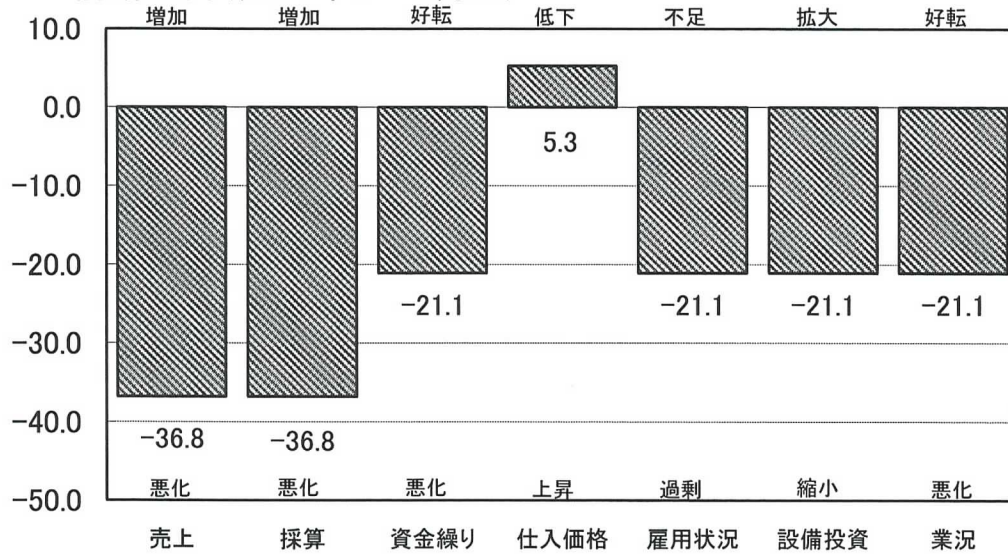
来期見通し(平成21年7~9月見通し)



来期見通しDIは、前回調査と比較して、マイナス幅はやや改善した。一部で新規発注を期待する声は聞かれるものの、依然として続く受注競争の激化で売上・利益の確保が難しく、資金繰りの悪化が懸念される。

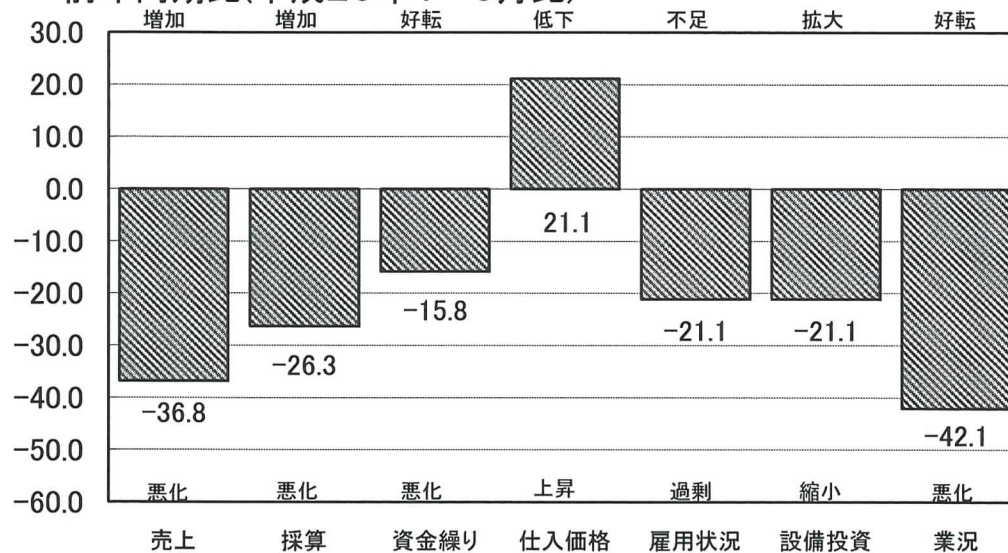
(3) 卸売業

前期比(平成21年1~3月比)



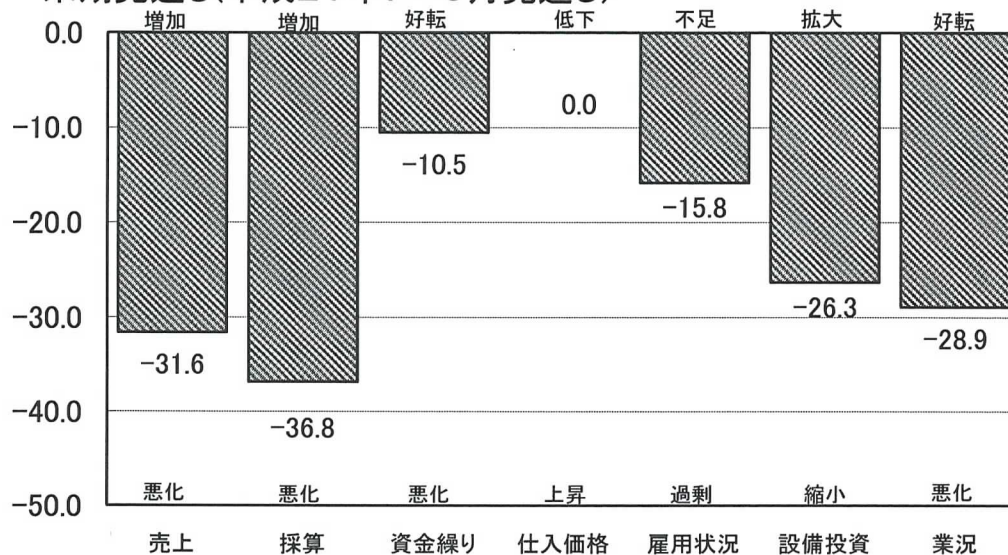
前期比DIは、前回調査と比較して仕入価格はプラスに転じた。文具関連等で新年度での季節的要因により需要が増加したものの、依然として続く消費低迷で厳しい経営環境が続いている。

前年同期比(平成20年4~6月比)



前年同期比DIは、前回調査と比較して仕入価格は好転した。昨年迄続いていた原材料の高騰が落ち着き仕入価格は低下しているものの、消費低迷による需要の悪化で業況は依然厳しい状況となっている。

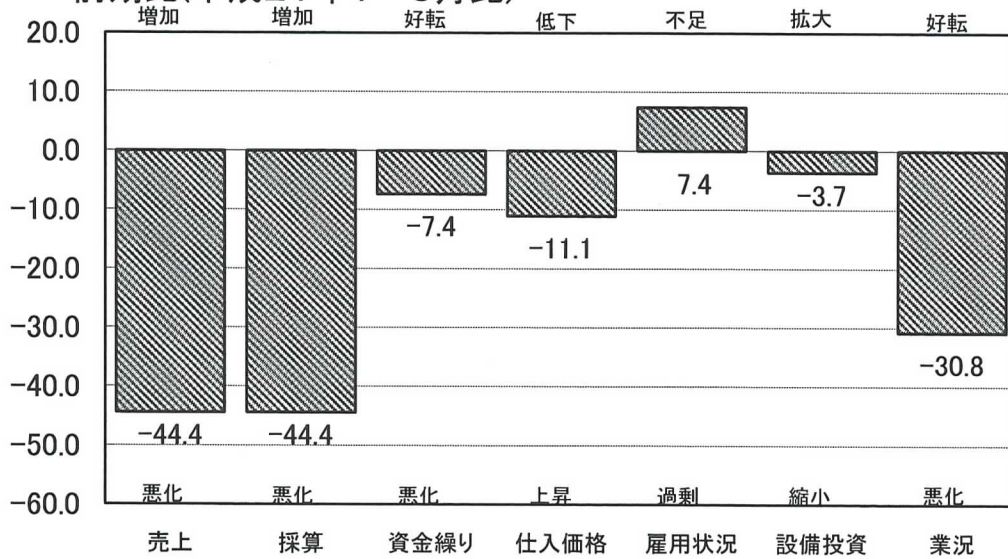
来期見通し(平成21年7~9月見通し)



来期見通しDIは、売上・採算・利益ともに大幅な悪化となった。青果関連では「野菜の単価低下による売上減」等の声もあり、消費の低迷による受注減少が懸念され先行きは厳しい状況となっている。

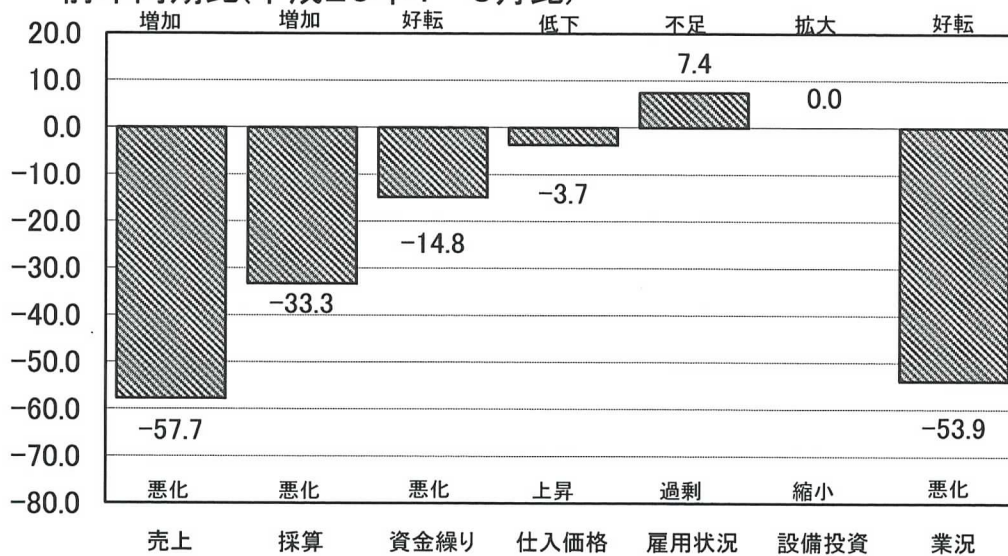
(4) 小売業

前期比(平成21年1~3月比)



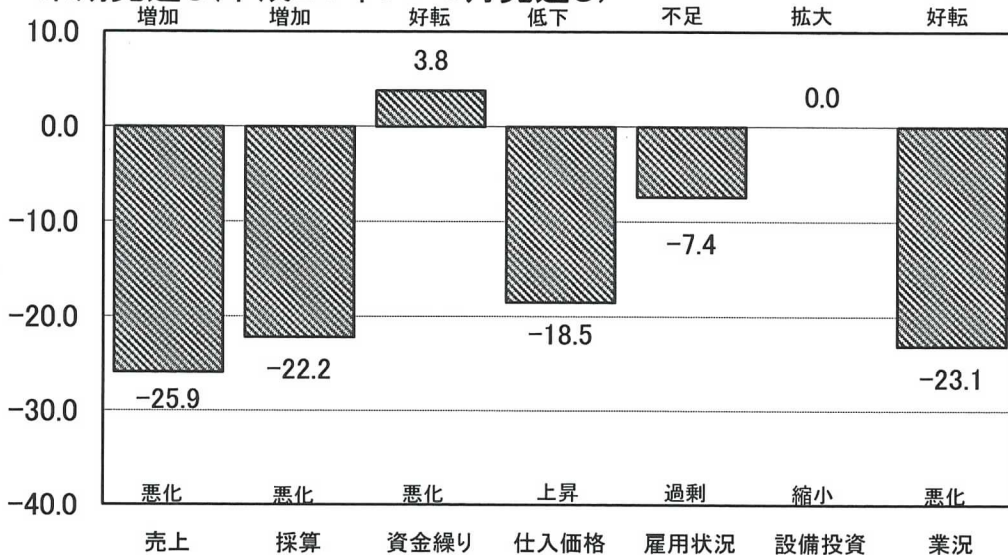
前期比DIは、前回調査と比較して、雇用状況はプラスに転じたものの売上・採算・業況のマイナス幅は横這いとなっている。依然として続く個人消費の買い控えによる影響で売上・利益ともに確保が難しく厳しい経営環境となっている。

前年同期比(平成20年4~6月比)



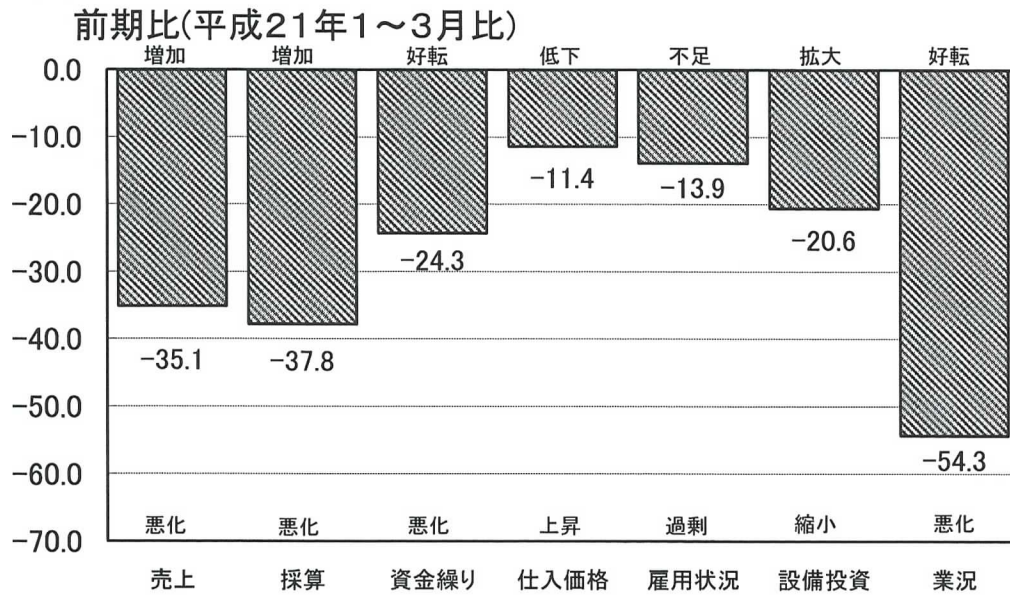
前年同期比DIは、前回調査と比較して、売上・資金繰り・業況のマイナス幅が拡大した。「販売価格の下降」(飼料小売業)など消費低迷による売上高の減少で資金繰りは、益々悪化しており厳しい経営状況となっている。

来期見通し(平成21年7~9月見通し)

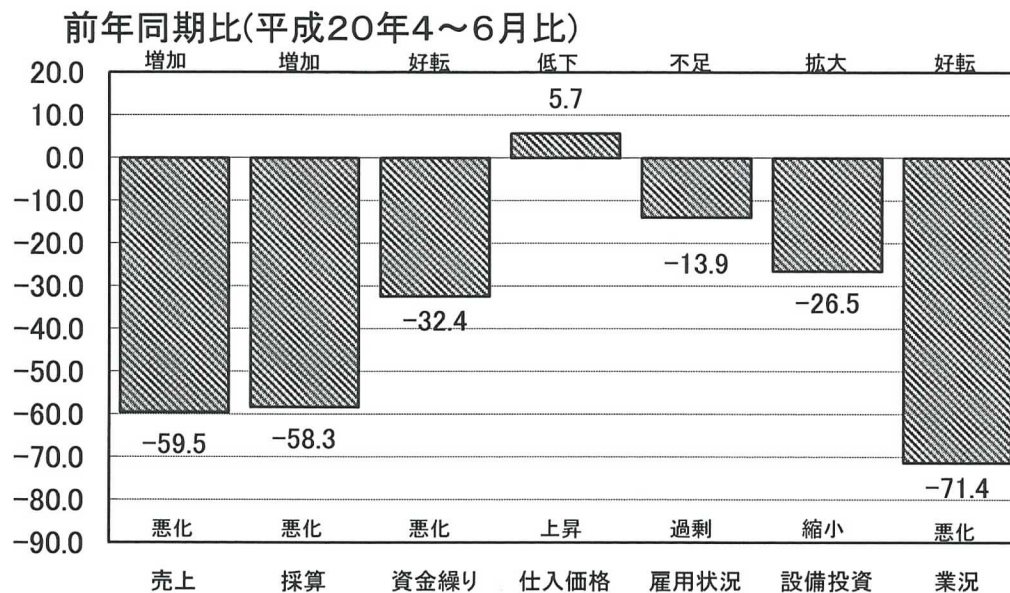


来期見通しDIは、前回調査と比較してマイナス幅はやや改善された。政府の景気対策効果による業況改善の期待は持たれるものの、消費の低価格化等による売上悪化は払拭出来ず先行き不透明な状況となっている。

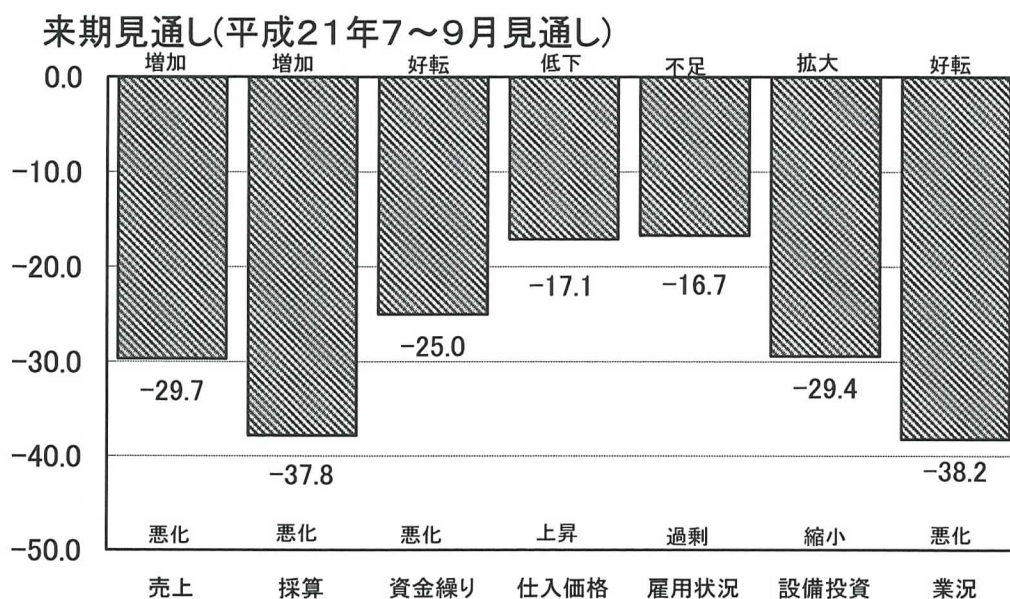
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)



前期比DIは、前回調査と比較して業況は大幅にマイナス幅を拡大した。「コマースシャル出稿が落ち込んでいる」(放送)、「物量が大幅に減少」(運輸)など、需要は依然として減少しており、厳しい状況となっている。

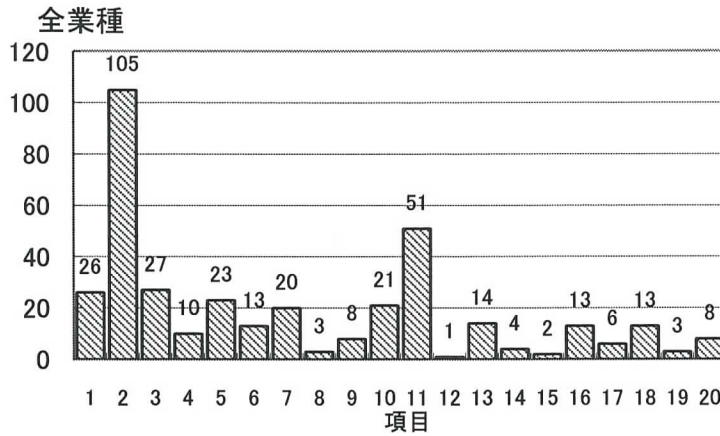


前年同月比DIは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともにマイナス幅が拡大した。「宿泊客が減少」(ホテル)、「県外客の減少」(ゴルフ場)など依然として続く消費低迷による影響で、益々厳しい経営環境となっている。



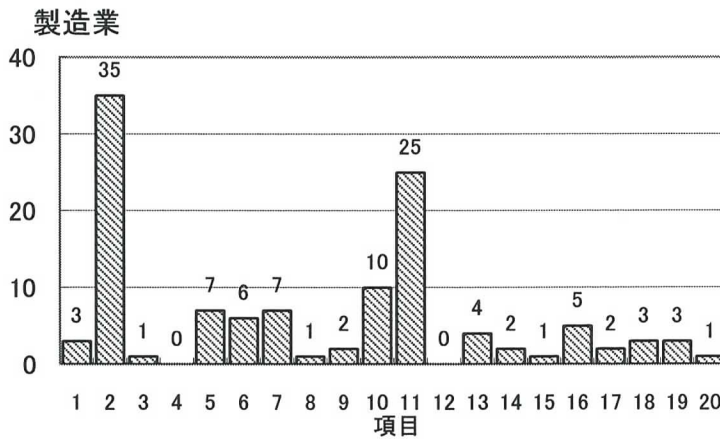
来期見通しDIは、前回調査と比較してほぼ横這いとなっている。依然として続く消費低迷に加え、新型インフルエンザなど社会不安による需要の減退が不安視され先行きは益々不透明な状況となっている。

6. 経営上の問題点



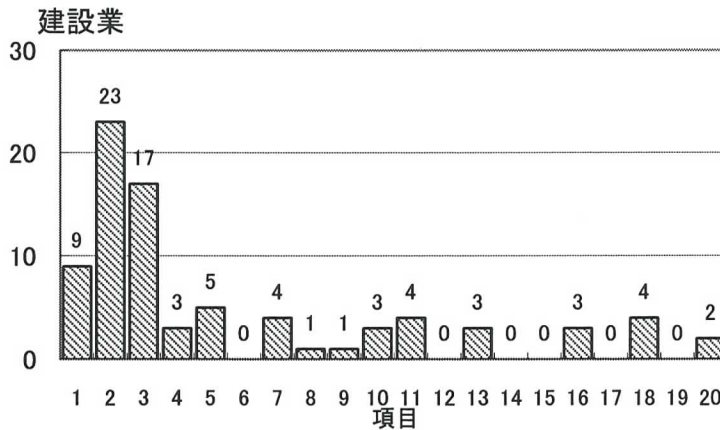
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 生産設備の不足・老朽化



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 人件費の増加
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 5位 原材料(仕入単価)価格の上昇



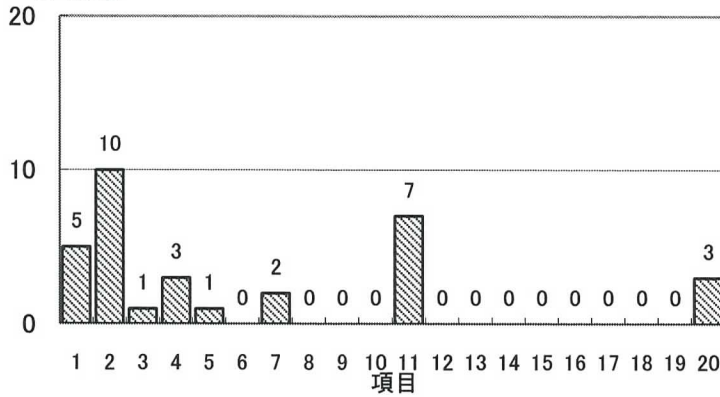
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

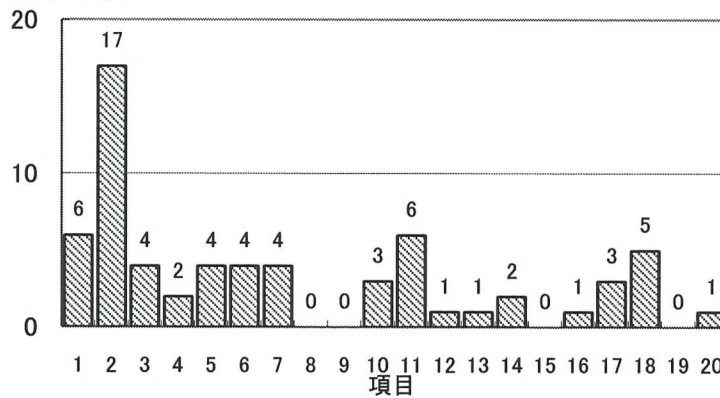
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 新規参入業者の増加
- 5位 代金回収の悪化

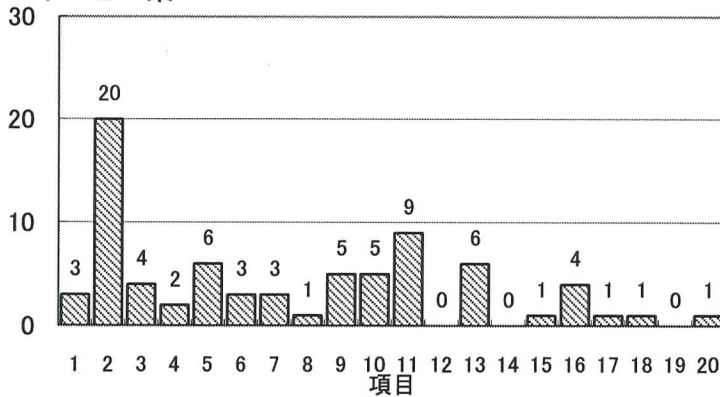
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 取引条件の悪化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

サービス業



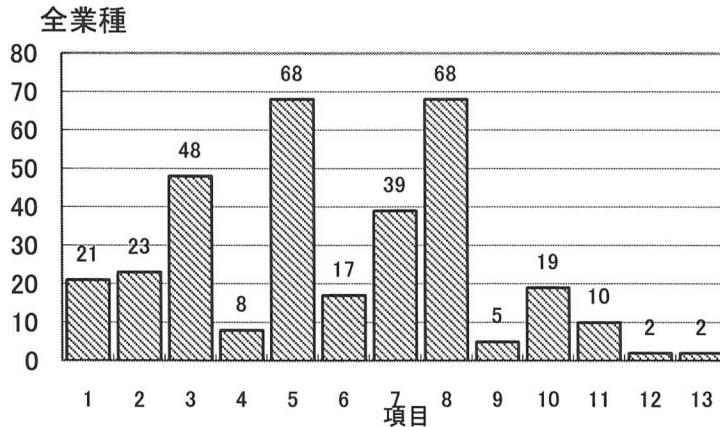
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 生産設備の不足・老朽化
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加

項目一覧

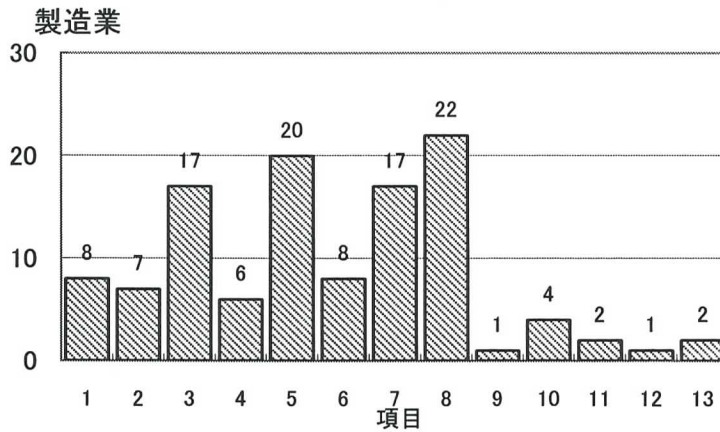
- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策



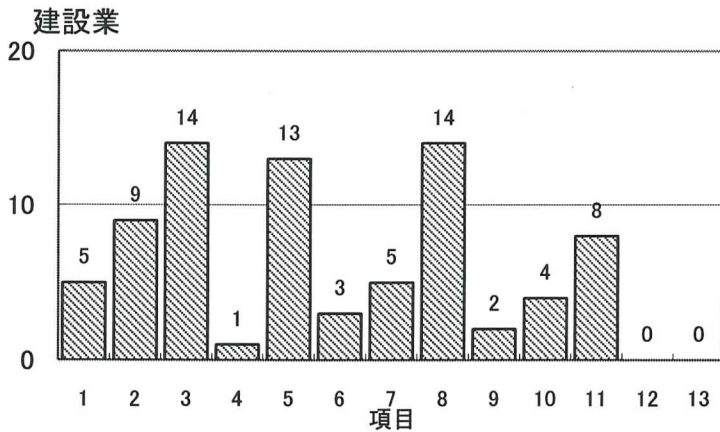
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい



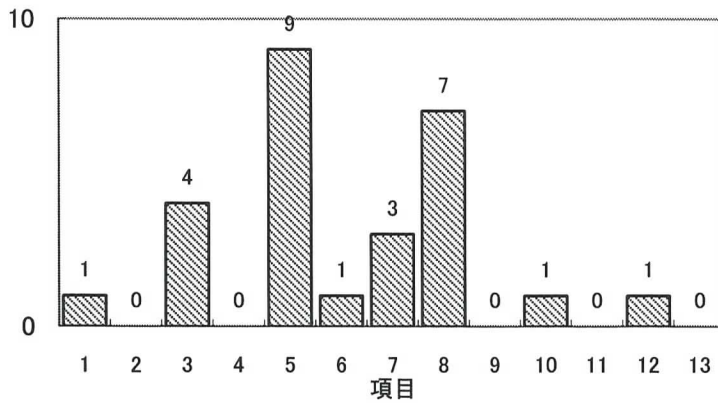
順位

- 1位 人件費を削減したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 雇用調整を行いたい
- 5位 下請け発注を減らしたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

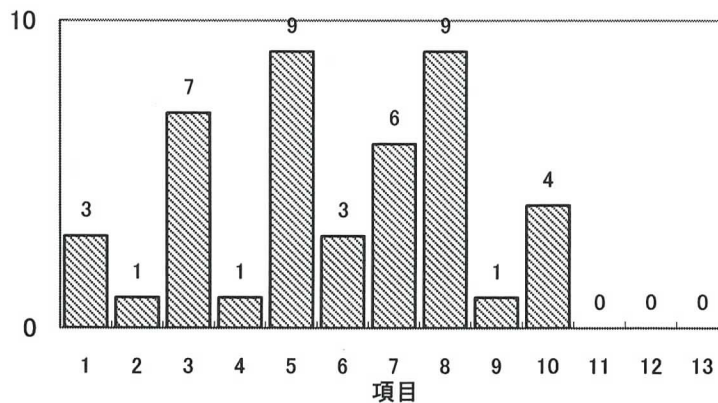
卸売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

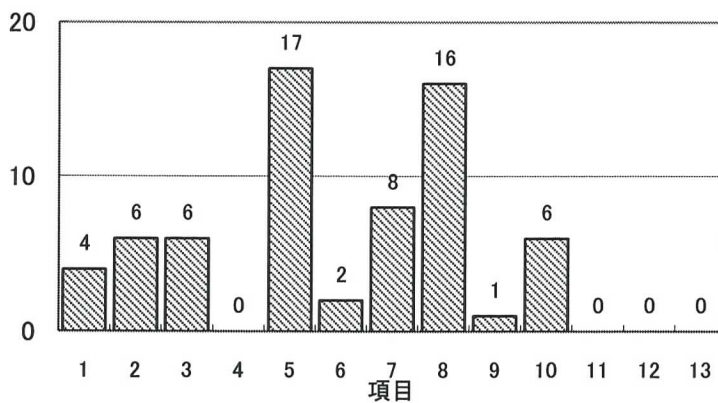
小売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

サービス業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 雇用調整を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	建築資材卸	都城	・現状の景気低迷は今後3年間は続くと予想されるため、環境の変化に柔軟に対応する為にも業務や財務の「見える化」を図り健全な経営に努めてゆきたい
製造業	酸素等の高圧ガス製造	宮崎	地場産業の活用による製品開発と、工場立地。少子高齢化対策。
製造業	印刷業	宮崎	入札制度の変更にともない、価格競争が激化している。特に印刷業は、最低価格がないため、採算ベースを下回ることが多い。
製造業	輸送機器製造業	宮崎	エコカー減税の継続をお願いしたい。
製造業	機械器具製造	延岡	大企業(トヨタや大手メーカー)は在庫調整が進んでいると聞いているが、我々中小企業にはまだその実感はありません。しばらく受注の低調は続くと思われませんが、今年中に回復しなければかなりきびしい状況に追い込まれそうです。
製造業	鋼材加工販売	延岡	緊急景気対策の即時実施。
製造業	プラスチック金型製造修理	延岡	国が助成する支援が小企業まで渡ってこない。地方枠や小企業向けの施策強化を望みます。
製造業	二酸化マンガン製造販売	日向	ムダを排除した行政のスリム化・効率化。選挙目当てのバラまきの抑制。
製造業	管工事・製造業	日南	減税・各法人税等消費税減税してもらいたい。国家公務員の給与を少なくして欲しい、減税のために。そして景気が悪いのに取りすぎ、政治家も同じ
製造業	自動車専用部品製造	日南	好転方向には向いているが、スピードが遅い。ここ2-3年は昨年の8月ごろの80%位しか戻らないと感じている。このマイナス分を新製品の開発で乗り切りたい。開発から製品化そして販売までを支援していただきたい。今の助成金では範囲が狭いし少なすぎだと思います。
製造業	焼酎製造販売	串間	単式蒸留焼酎を全国市場で宣伝願いたい。
建設業	総合電気事業	都城	公共工事による入札価格の最低価格の見直し。一般競争入札制度が導入され、落札した工事が赤字となるケースが多い。
建設業	電気工事防災工事	宮崎	入札は過度の競争化にあり採算性が悪い。又、競争業者が多く受注できない。(宝くじより確率が低い)現知事では経済効果は望めない。
建設業	土木建築とび土工他	宮崎	建設業界は、「経営と技術の優れた業者」が生き残る様に取り組んで来たと思うが、現状の入札方式を維持する限り、経営内容の厳しい業者でも落札し、受注できる。行政に要望することは「入札ポンド方式」の早期導入である。落札後「契約保証」を取得するのではなく、入札前に銀行や損害保険、保証会社による保証が取得できた業者が効用工事の入札には参加すべきだと思う。公共工事にもPFIを導入し、利用を考えてもいいのでは？学校給食施設も老朽化している所もある。市町村で建設できないのであれば、国や県が建設しても良いのでは？
建設業	電気設備工事	宮崎	景気対策の補正予算が国会で承認されている。早期発注を望む。
建設業	建築工事業	宮崎	地場企業の地域貢献に応じた受注工事の拡大。最低制限価格の引き上げ入札予定価格の事後公表、工事検査、部分払を含む支払いの迅速化の徹底。
建設業	一般土木建築工事業	宮崎	公共工事の増加。景気対策への抜本的改革。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	選挙の結果がどうなるか解らないが、景気対策を一番に取り上げて欲しい。
建設業	電気工事	延岡	行政が、条件付一般競争入札が主流ですが、施工実績、配置技術者等の施工年数(過去10年が主と思われるが?)近年、施工物件も減少な中で考えると近々に施工した業者の優位性が感じられ、より以上に差異を感じる。施工実績の過去の延長等、年数制限等考えて欲しい。
建設業	電気工事業	高鍋	公共工事を増やしてほしい。

建設業	建設業	日南	失業者への保護(派遣社員の保護)等、必要なことであると思うが財源が公共工事の削減など失業率をアップさせるところから持ってくるのはいかがなものか?公共工事は過去のように利益の上がるものではないように思います。
建設業	土木工事一式	串間	国県ともに景気対策を重視して抜本的な予算付けを図らなければ雇用の安定はしないと思う。
卸売業	青果卸売業	宮崎	農産物の生産県として農家が頑張れる対策を。
卸売業	食品卸売	日向	目先の需要減を埋める短期的対策ではなく、新産業の育成や長期的成長を促す農業政策など、中長期的対策を打ってほしい
小売業	飼料販売	都城	海外の食材に依存しすぎているのでは。日本の農業を最守すべきだと思っています。
小売業	自動車販売及び整備	宮崎	現在のエコカー減税対象が来年度3月末迄の登録者に限定しているのを、衆議院選挙後の新政権には対象年月の延長を御願ひしたいと望んでいます。
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	衆院選に当りマニフェストがクローズアップされているが或る党首は4年たって何も出来ていないと批判しており自分は総理になればすぐ夢をかなえるようなことを言っている。実行できなかったときはすみませんでしたの一言ではすまない。小企業のオーナーは消え去る運命であるのと大きなちがいである。
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	雇用の創出を行なってほしい。若者が働ける場を所の確保を。エネルギー産業、特に電力産業を家庭レベルで発電したり、エコエネルギーを創出する産業の創出を。経済的な安定と、子供たちの未来を役人は真剣に取り組んで下さい。
小売業	切花鉢物販売	延岡	われわれ小規模経営者は依然として厳しい状況が続いている。このままでは安定した売上は期待できない。行政にお願いしたいことは一日も早く景気対策をして安心した生活が出来ること。だが、明るい兆は遠い。今は自分で安定した道をひたすら努力するしかない。
小売業	石油小売	小林	向こう1年間だけ各企業or個人の借入金返済を猶予した方が景気回復は早い
小売業	衣料関係小売	小林	市外での商品購入のみならず、ネット販売での購入が増えている。プリント加工持込が多く改善を図る必要がある。学校販売等リサイクルの波が大きく薄利な上に売上まで縮小気味で手の打ち様が内ない状態が続いている。
小売業		串間	小さな小売店は大きな店に太刀打ちは出来ません。小さな店は資金もないし何もできません。何かイベント風に店に呼び込むためのご指導と補助金はでないものでしょうか。
サービス業	貨物運送業	都城	物流の動きが停滞しており、早く予算の国会通過で経済活性化を図って欲しい
サービス業	総合不動産業	宮崎	景気対策を考えてほしい。
サービス業	ゴルフ場経営	宮崎	①ゴルフ利用税をなくしてほしい。②価格競争に何らかの制限を検討してほしい。
サービス業	飲食業	宮崎	今の景況は政治(国、県、市)の悪性のゆえであり、人災にも等しいと思う。郊外の作りやすい(ゼネコンのていあんか!)場所に人の集まる大規模施設(サンマリン球場、生目の杜球場、イオン)を造り、見事に中心市街地空洞化をまねいた。県外客(鹿児島、熊本、福岡)はこれ等、高速道に近い施設ゆえ、日帰り客化している。県庁見学客は若い層が多く、あまりお金をおとしていない。空港利用客の減少も気にかかる。私どもが長年おつきあい頂いた富裕層が、どうも宮崎から遠のいた気がする。京都、奈良、鎌倉、横浜、神戸、仙台、新潟、金沢、広島、長崎といった日本を代表する観光都市には一貫したゆるぎない「おもてなし」の心が感じられる。宮崎には一応「おもてなしの心」があると宣伝されているが、こらで一歩たちどまり、はたして我々(県民・市民)に「おもてなしの心があるのか」と反省したいものだ。もっと長期展望にたって観光施設を再考してほしい。宮崎にあるのは、農業、漁業、畜産、林業であり、天皇家発祥の証明にある神話の舞台のみとあってよい。この身近なところに宮崎再生のヒントがあると見る。
サービス業	不動産鑑定評価業務	宮崎	売上や収益内容が好転しつつあるところへ、借入れ条件が厳しく、積極的に事業転回が出来ない。大変当惑している。政府・自治体そして市中金融機関はもっと理解を深めて、支援の手を差し伸べて欲しい。当社は雇用にも前向きに取り組んでいます。会議所には単にアンケートのデータを取るだけでなく、具体的に指導・協力してほしい。

- サービス業 飲食業 日向 事業承継などについての公的制度ができていますが手続きがめんどくさい。(担当者があまり理解していない)もう少しスムーズな対応をお願いしたい
- サービス業 税理士事務所 日向 雇用等の助成金の拡大
- サービス業 ホテル飲食 日向 はじめに、昨年9月15日にサブプライムローンによるリーマンブラザーズの破綻を端緒に全世界に不況の波が瞬く間に広がって行った。お陰で金融及び経済構造はすべての企業にと言っていい程マイナスへと大きくダメージを受けている現況である。立直な気配は来年後半との観測であるが、我々サービス業(ホテル・飲食)は即一般の反応は厳しく殊に本業の場合宮崎市を始めホテルの乱立、値下げ競争の渦中にある現状である。また県北、延岡、日向を時下を感じることは、昔と違って鉱工業の生産性の低下、交通アクセスの不備、政治力の貧困、商店街の疲弊(街並の不均衡な形態)、以上のような諸点からπ(パイ)の縮小となっていると思う。早慶な抜本的な政策が必要である。日本国に対して言いたい事は、今の政治家は愛国心が全くないと言いたい。明治維新のような政治家、即ち日本の利益を導入するためのアイデンティティーを共有する政治家の集団の出現、日本の主権の確立を内外に誇示できる日の丸ニッポンを切望する者である。また敢えて一言申し上げたいことは、県知事を始め各ポストの方の一般なる御配慮をお願いします。
- サービス業 レストラン 高鍋 世界的不況の中で地方が影響を受けるのはこれからでしょう。一年間は辛いでしょう。政府の力がどこまでやってくれるか疑問です。自力で頑張るしかないのでは。
- サービス業 建築設計 日南 国や県の発注方法を考えてもらいたい。もう少し地域性や地域への貢献度を見てもらいたい。地域の仕事はその地域に請け負わせてもらいたい。
- サービス業 ホテル 日南 重油価格の変動幅を抑えていただきたい
- サービス業 葬祭業 小林 若年者が夢を持てるよう経営者の意識を変えてほしい。